

千代田区のボランティア活動とご近所福祉活動情報が満載!
ちよだ社協のスペシャルなフリーマガジン

TakeFree

ちよだ
Volunteer
ボランティア × ご近所 かわらばん

合併号

これを読んで
悪徳商法の
被害をなくそう!



でも、
人間はだまされやすい
生き物なんです...

ナポレオンズさんスペシャルインタビュー!!

ダマされていいのはマジックだけ



朗読劇で悪徳商法を撃退!

ちよだ悪徳商法バスターズ



ボランティア同士のつながりで生まれる笑顔

たまり場あつまろう会 × ちよだ日本語カフェSwan
= 新たな出会いと新しい活動



団体&活動紹介

ふたばサービス



かがやきプラザ × シニア世代 × 子ども × ボランティア
= 多世代交流!!



ちよだ社協

はつあいと

社会福祉法人千代田区社会福祉協議会

ナポレオンズ スペシャルインタビュー!!

ダマされていいのはマジックだけ

悪徳商法が蔓延中、「不思議で脳を活性化」
「ダマされないためのマジック」などテーマに、
悪徳商法撲滅の講演を行っているナポレオンズ。
ここ10年の活動で悪徳商法撲滅の講演が
3〜4割を占めるほど関心が高まっている。
世界最高のテクニックを持つお二人が、
今なぜ、この活動を積極的に行っているのか、
お話を伺いました。



— お二人が悪徳商法撲滅活動をするきっかけは何かだったのでしょうか。



パルト小石さん

悪徳商法とマジックは、人間の心理的構造を利用したトリックを用いるという点で似ているところがあります。私たちはそのテクニックがわかっているのに、一般の方々に少しでもだまされないように、被害を少しでも減らすお手伝いができればと思い、活動を始めました。

そもそも、人間はだまされやすい生き物なんです。それをマジックを通して知ってほしい。「自分は絶対だまされないぞ!」という人の方がむしろだまされてしまうのはそのためです。自分に対する過信は危ないですよ!ということを伝えたいのです。



ボナ植木さん

例えば、振り込め詐欺。最近は警察、弁護士、友人などが登場する劇場型が増えてきて複雑化しています。変わらないのは電話から始まるということです。



パルト小石さん

それは、「電話に出る」という行為が、すでに人間の無意識の行動＝「ベルが鳴り止む前に急いで受話器を取らなくては!」という心理的構造を利用しているのです。人間は急いだり焦ったりすると一つのことに集中してしまい、周りが見えなくなって正確な判断ができなくなりますから。

— たしかにおっしゃるとおりですね。振り込め詐欺が広まってからこれまで警察もかなり防止策をとっていますが、被害がなくなるのは、過信が大きくなりますね。



パルト小石さん

マジックを通してだまされて、「あれ?おかしいぞ。何で?!」と思うだけで脳に刺激が与えられます。それは見たり聞いたりしたものをそのまま信じてしまっているからです。だから「あれ?!おかしいぞ」と思うのです。でも、こうして脳に刺激を与えることで、脳は活性化され、ついでには脳の健康にもつながります。



ボナ植木さん

私はこれを「脳みその散歩」と呼んでいます。いつも同じ道を通って帰ったり、同じ店だけに行ったり。それ自体は楽しいし、悪いことではないのですが、たまには帰り道を変えたり店を変えたりすることで脳に刺激が与えられます。



パルト小石さん

私たちはマジシャンなので、不思議なマジックを見て驚いてもらい、脳に驚きという、現代に最も不足している刺激を与えることができます。硬直化してしまった脳に不思議という刺激で深呼吸してもらい、また過信にも気づいてもらい、それがダマされることにつながるということに気がついてもらえればいいと思っています。

ナポレオンズ プロフィール

ボナ植木(写真左)、パルト小石(写真右)によるコンビ。1977年プロ・デビュー以来、マジック界の第一線を走り続けている。1980年代から海外に進出、アメリカ・ラスベガスで開催された『世界マジック・オリンピック』では最高得点で優勝。以後、ヨーロッパ、アフリカ、南米へと活躍の場を広げる。国内では、日本テレビ系列の長寿番組『笑点』の演芸コーナーに最多出演。



インタビューに真剣に応じてくださったナポレオンズのお二人



— なるほど。しかし率直に伺うと、世界レベルのテクニックを持ったお二人なら、活動先はいくらでもあるのに、わざわざ小学校や中学校、被災地でボランティア活動するのはなぜですか。



パルト小石さん

何か人の役に立ちたい、喜んでもらいたい、という気持ちが根底にはあるんでしょうね。私たちは学生時代専修大学のマジック同好会で知り合って今があるのですが、もともとマジック同好会はボランティアサークルのようなグループでした。老人ホームを訪れるにしても、落語ができるわけでも何ができるわけでもない。それならばマジックでもして、お年寄りを喜ばせてはどうかと当時の先輩から言われて始めたのがきっかけです。

— お二人の出会いのきっかけがボランティアとは意外でした!



パルト小石さん

学生時代、施設を訪問して、私たちのマジックを見てもらって「楽しかった」「また来てね」と喜んでもらった時の喜びは今でも覚えています。そういう意味では、今はその当時の自分に戻っていると言ってもいいかもしれません。誰かの役に立ちたい、喜んでもらいたいという気持ちがこの活動の支えになっています。



ボナ植木さん

私たちのマジックを楽しんでいただくだけでなく、それプラス悪徳商法防止の一助となって喜ばれて、それが社会の役に立つのであれば、講演はこれからも続けていきます。

— 自分の職業や好きなことを活かして社会貢献活動ができることは、自分も周りのみんなも幸せにできてよいですね。私たちひとりひとりも自分自身をよく考えてみると、いろいろと社会に向けてできることがあるかもしれませんね。



聞き手:
千代田区社会福祉協議会
地域支援係 松本

インタビューは始終和気あいあいと楽しく進められました。はじめはあの有名なナポレオンズさんということで緊張しましたが、お二人が雰囲気をもたせてくださり、笑いが絶えない時間となりました。写真撮影も進んでポーズを決めてくださり、とても嬉しかったです。貴重なお時間いただきありがとうございました。これからのお二人のご活躍を楽しみにしています。

出演者・メンバー募集!!

ちよだ 悪徳 商法バスターズ

朗読劇で千代田区から悪徳商法を撃退!

私たち、『ちよだ悪徳商法バスターズ』は、千代田区から悪徳商法をなくすことを目的に、消費生活センター、社会福祉協議会と一緒にさまざまな活動を行っています。

そのひとつが朗読劇。町会や長寿会の集まりに伺って、実際にあった悪徳商法の手口を朗読劇にして披露しています。会場から笑いが起こったり、「私も同じような被害にあいそうになった!」という感想をいただくこともあります。

セリフを覚えたり、時には小道具を作ったり、大変なこともあります。みんなで活動しているととても楽しく、なによりも「区民のみなさん!被害にあわないで!」という思いで活動しています。

しかしこれだけ世間で啓発がされているのに、悪徳商法の被害はますます増えるばかりですね。犯人の手口は巧み。「私は大丈夫」は通用しません!バスターズの活動で得られる悪徳商法の最新知識。

悪徳商法被害防止の5か条

- 一.甘い話を信じない
- 二.安易に個人情報教えない
- 三.タダより怖いものはない
- 四.誰かに相談、早めに相談
- 五.周りも見守り、声掛けを!

朗読劇を上演してほしい!という相談も随時受けています。メンバーに加入したい!という方は、ぜひご連絡ください!

周りのためだけではなく、まず自分が被害に遭わないようにするために、とても役立っています。

みなさんも、悪徳商法バスターズのメンバーになって一緒に活動しましょう。

活 動していると悪徳商法から電話がかかってきたという声を多くききます。私たちのところにもかかってきました。千代田から悪徳商法の被害をなくそうという思いで活動しています。



出張講座の様子

福祉まつりの様子



♡団体&活動紹介♡

ふたばサービス

藤田さんと水戸さんの場合

毎週月曜日、藤田さんの居室やトイレ、浴室の清掃活動をしています。活動が早く終わると、ガールズトークを展開。お二人とも、会って話をするのが楽しくて仕方がない様子です。



利用会員
藤田房子さん



協力会員
水戸恵子さん

部 屋もきれいにしてくれるし、外出する機会が少なくなりました私には、朗らかに活動してくれる水戸さんと話ができるのがとても嬉しい。今では「お友達」にも似た感覚です。今日はどんな話をしようかと、毎回考えています。

き っかけは区内の掲示板で協力会員登録説明会のポスターを見たから。これまで高齢者と関わることはあまりありませんでしたが、自分のできる範囲で地域で困っている人の力になりたいと思い説明会に参加しました。利用会員との相性もあると思いますが、こんなに楽しく活動できるのとは思いませんでした。ふたばサービスの活動を始めてから、夫に「いきいきしているね」と言われました。

協力者を募集しています!

ふたばサービスは、日常生活にお困りの方の負担を少しでも軽くするため、掃除、食事の支度などの家事援助や、通院・外出支援等を有償で行う会員制の住民参加型家事援助サービスです。

ふたばサービスでは、協力会員として活動して下さる方を随時募集。特別な資格や技術は必要ありません。コーディネーターが、皆様の地域の力になりたいという思いをサポートします。※協力会員の方には、1時間1,000円の活動費と、400円までの実費交通費をお渡しします。



【主な活動内容】

掃除・整理整頓、食事の支度、洗濯、買い物、通院・散歩の付き添い など



ふたば担当者のコメント
千代田区社会福祉協議会
地域支援係 小川

ふ たばサービスは、協力会員の皆様があつてこそ成り立つ住民参加型の家事援助サービスです。介護保険などの公的な制度だけでは支援するのが難しい方々を地域で支えるためのふたばサービス。支え合いの輪の中心になるのはあなたです!

20周年記念イベント開催のご案内

ふたばサービスは皆様のご協力もあり、事業開始より20年を迎えました。平成28年5月21日(土)に20周年記念イベントをかがやきプラザで行う予定で、ゲストによる介護に関する基調講演や、協力会員登録説明会などを開催します。詳細は、当会ホームページやチラシなどでお知らせします。お楽しみに!

千代田区社会福祉協議会 内 ふたばサービス
☎ 03-6265-6520



ふたばサービスは20周年

たまり場あつまろう会 × ちよだ日本語カフェSwan = 新たな出会いと新しい活動

障がいのある方が地域でいきいきと生活できるよう、ダンスやお出かけなどの余暇活動を楽しんでいる『たまり場あつまろう会』と、千代田区に在住・在学・在勤する外国人に、日本語で交流したり、日本文化にふれていただく活動をしている『ちよだ日本語カフェSwan』。この2団体がコラボした交流会が、千代田区立障害者福祉センターえみふるにて行われました。

1 きっかけ

当センターの情報紙のボランティア記者として、あつまろう会の活動取材した旭さん。活動に感銘を受け、自身のグループSwanで何かできないかという思いが生まれ、実施することになりました。

2 当日

当日の進行はSwan、交流の内容は、海外からの留学生の参加者が母国の言葉を紹介しながらじゃんけん大会をしたり、世界の民謡に合わせて輪になってダンスをし、最後はお茶を飲みながら、異文化コミュニケーション！

3 いっしょに活動する効果

あつまろう会代表の小笠原さんは、「参加者主体の交流会で、貴重な経験になりました。障がいを持つ方が普通に暮らしてはなかなかできない出会い、経験をさせていただき大変ありがたいです。」あつまろう会の参加者は「日本の好きな食べ物は？」など、外国の方に興味津々の様子。スウェーデン人留学生で日本語の資格勉強中というラスムスさんは、「学校では味わえない経験をさせてもらいました。」と笑顔。Swanの柏田さんは、「初めての試みでしたが、みなさんの反応が良く、楽しかったです。今後も色々な団体とコラボしたいです。」と熱く語りました。



あつまろう会メンバーと
じゃんけん大会をするラスムスさん(左)



あつまろう会メンバーの
質問に日本語で答える
外国人参加者

それぞれのグループの得意なことを活かして、 いっしょに活動してみませんか？

グループの特技を活かし、協力しあえば、新しい出会いと活動が生まれます。ボランティアセンターはグループ同士の協働の橋渡しもしています。「Swanやあつまろう会についてもっと知りたい、活動に参加したい！」「他の団体とコラボしたい！」「まずはボランティアグループで活動したい！」と思った方は、是非、下記までご相談ください。

かがやきプラザ × シニア世代 × 子ども × ボランティア = 多世代交流！！

平成27年11月にオープンしたかがやきプラザ(高齢者総合サポートセンター)の機能のひとつに多世代交流があります。ここでもボランティアが大活躍しています。

企業ボランティアがつなぐ新たな出会い

平成28年1月30日、富士見わんぱくひろば音楽クラブの子どもたちがかがやきプラザに集まり、高齢者活動センター利用者の皆様とお手玉やけん玉、福笑いなどの昔の遊びで交流しました。

両者をつなげたのは、富士見わんぱくひろばでボランティアとして活動する明治安田生命営業企画部社員の皆さん。子どもたちと高齢の方々が交流する機会がつかれないかと、ボランティアセンターに相談があったことから実現しました。



お手玉やけん玉など、昔遊びを楽しみました！



ぜひ、あなたも参加してくださいね。お待ちしております！

私たちも元気をいただきました！
今後も地元の千代田区で多世代交流の輪をひろげていきたいです！



明治安田生命営業企画部の嶋廣さん

子どもたちは昔の遊びをあまり知らないみたいなので、好きなお手玉を子どもたちに伝えたかったです。いっしょにやるうちに、できるようになっていくのを見るのも楽しいわ。



高齢者活動センター利用者の花崎さん

この施設を拠点にさまざまな世代の方同士の交流を図り、笑顔かがやく施設にしていきたいです。



かがやきプラザ多世代交流事業担当
スタッフの清水

多世代交流事業に協力してくださるボランティアを募集しています！

お問い合わせ 千代田区社会福祉協議会 ちよだボランティアセンター
☎ 03-6265-6522 volunteer@chiyoda-cosw.or.jp

お問い合わせ かがやきプラザ内 高齢者活動センター
☎ 03-3265-1161 kagayaki@chiyoda-cosw.or.jp

I ♥ Chiyoda!

ちよだ社協の情報いろいろ

全て無料!

ちよだ社協では、地域や地元、ご近所を愛する気持ちを広げていくために、広報活動に力をいれています!

情報マガジンボランティア from ちよだボランティアセンター



ボランティア団体や施設等のボランティア募集情報、イベント・講座情報、助成金情報、ボランティア活動の様子に密着取材した特集記事など、毎月楽しめる新鮮な情報をオールカラーで発行しています。公共施設から商店まで区内約360か所で無料配布中!

◎毎月25日発行



ちよだボラセン



www.chiyoda-vc.com

ご近所かわらばん from 地域支援係



ちよだ社協は、区民の皆様と協力して、地域の支え合い活動をすすめる「ご近所福祉活動」(町会福祉部活動)をすすめています。「ご近所かわらばん」はご近所福祉活動の取り組みや地域の情報を伝える情報紙です。内容は●まちの中のできごと・ニュース ●町会が行っている福祉活動 ●福祉サービスに関する情報 ●町会(福祉部)インタビュー 他。

◎年5回発行 ※うち2回は6出張所地区別に発行・うち1回は福祉まつり来場者向け特別号を発行



ご近所かわらばん



www.chiyoda-gokinjo.net

ちよだ社協だより from 総務係



千代田区内の各施設でご覧いただくか、新聞(朝日・読売・日経)の各紙にて折り込み配布(一部地域を除く)しています。毎回、千代田区社会福祉協議会の事業を分かりやすく掲載しています。ぜひご覧いただき、社協のはあとを感じてください!

◎年4回発行 ※3月・6月・9月・11月各月末日に予定



ちよだ社協



www.chiyoda-cosw.or.jp

メルマガジン千代田でつなメール ★メルマガ会員 1700人突破!★

君もボラダー
に变身!



メルマガでしか知ることができない!? 千代田区の地域活動やボランティアの最新情報を配信中。登録・解除は以下またQRコードから簡単にできます。

<http://www.chiyoda-vc.com/9036>

◎毎週火曜配信

QRコードで
簡単登録!



いいね!してね。

+ フォローしてね。

SNSでも配信中!



ChiyodaVolunteerCenter

facebook.com/ChiyodaVolunteerCenter



chiyoda_vc

http://twitter.com/chiyoda_vc



社会福祉法人 千代田区社会福祉協議会

www.chiyoda-cosw.or.jp

情報マガジン『ボランティア』x『ご近所かわらばん』合併号2016

【発行元】社会福祉法人 千代田区社会福祉協議会 【発行日】2016年3月19日

〒102-0074 千代田区九段南1-6-10 かがやきプラザ4階 ☎03-3265-1901 ✉info@chiyoda-cosw.or.jp